

関係者各位

平成29年7月21日
宿毛漁業指導所

赤潮プランクトンの調査について

本日、大島周辺にて海水の着色が確認されたため、赤潮プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、魚類を死亡させる恐れのあるコクロディニウム ポリクリコイデスが最大3細胞/ml、カレニア属が最大14細胞/ml、シャトネラ マリナが最大3細胞/ml確認されました。

また、アカシオ サングイネアと呼ばれるプランクトンが最大325細胞/ml確認されました。このプランクトンは赤潮を形成する種ですが、この1種単独で発生した赤潮での漁業被害は全国でも確認されておりません。しかしプランクトンの細胞数が急激に増加すると周囲を貧酸素状態にし、結果として養殖魚を弱らせてしまう可能性があります。そのため、海色や飼育魚の状態に注視してください。

今後、海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水1mlでのプランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	カレニア属	シャトネラ マリナ	アカシオ サングイネア
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)				
大島 (東側岸壁周辺) 採水時間 14:43 透明度 -m	0.0	27.7	31.6	5.7	3	14	3	91
大島 (大島橋周辺) 採水時間 14:50 透明度 -m	0.0	26.8	33.8	8.2	0	1	0	325